

## 本マニュアルの構成

本マニュアルは、以下の3部構成となっています。

- 第Ⅰ部 基本編
  - 排出量等の算出に当たっての基本的な考え方について記述しています。
- 第Ⅱ部 解説編
  - 特定の業種や工程によらない排出量等の算出の一般的な作業内容について詳しく記述しています。
- 第Ⅲ部 資料編
  - 排出量の算出等に役立つ資料を掲載しています。

また、本マニュアルでは第4版(平成21年3月)以降、事業者が算出結果の精度(確からしさ)を向上していくための考え方や具体例などの参考情報を掲載しています。

これらの情報については、第Ⅰ～Ⅲ部の各部で以下のように分けて掲載しています。特に第Ⅰ部には、本マニュアルにおける基本的な考え方を掲載していますので、重点的に確認するようにしてください。

- 第Ⅰ部 基本編
  - 排出量等の把握の精度向上に関する基本的な考え方(精度を向上させることのメリット、排出量等の把握の各段階における考え方)
- 第Ⅱ部 解説編
  - 化学物質の排出ポイントや排出の特徴、算出結果の確からしさについての把握の例、作業シートへの記入方法等
- 第Ⅲ部 資料編
  - 第Ⅰ～Ⅱ部における掲載内容の詳細(OECD(経済協力開発機構)の文書や業種別の算出マニュアル等における算出方法の考え方の事例、実測や排出係数の設定の際の留意点等)

## 第 I 部 基本編

### 第 I 部の使い方

第 I 部は、PRTR の基本的な事項と、1 つの事業者を例にとった排出量・移動量の算出から届出までの基本的な手順を掲載しています。

排出量を把握するに当たっての基本的な事項として知っておきたいことについて以下の各章を読んでください。

- PRTR とは何か、その実施によって事業者にはどんなメリットがあるのか  
→ 1. PRTR 制度の意義 (→ [p I -4](#))
- 対象事業者となるかどうか、何が届出の対象物質となるのか  
→ 2-1 届出対象事業者・届出対象物質の判定手順 (→ [p I -16](#))
- どのように排出量・移動量を算出するのか  
→ 2-2 排出量・移動量の基本的な算出手順 (→ [p I -32](#))
- どのように PRTR の届出をするのか  
→ 2-3 届出の仕方 (→ [p I -60](#))

また、本マニュアルでは第 4 版(平成 21 年 3 月)以降、事業者が算出結果の精度(確からしさ)を向上していくための考え方や具体例などの参考情報を掲載しています。

そのうち、第 I 部では本マニュアルにおける基本的な考え方を掲載しています。具体的には以下の該当ページを読んでください。

- どのような流れで排出量等を算出するのか、算出の精度を向上させていくことにどんなメリットがあるのか  
→ 2-2 排出量・移動量の基本的な算出手順 (→ [p I -32](#))
- 化学物質の排出ポイント、排出の特徴をどのように把握すれば、より確からしい算出となるのか

→ 2-2-2 化学物質の排出ポイント、排出の特徴を把握する際の考え方 (→p I-37)

○ 使用する算出方法をどのように選択し、選択した算出方法をどのように適用すれば、より確からしい算出となるのか

→ 2-2-3(1) 基本的な算出方法の考え方 (→p I-38)

○ 算出結果の確からしさをどのように把握すれば、使用している算出方法の改善点を知ることができるのか

→ 2-2-4 算出結果の確からしさを把握する際の考え方 (→p I-59)